

## 令和7年度 第1回千葉市立博物館協議会議事録

1 日 時：令和7年10月3日（金） 午後1時30分～3時00分

2 場 所：千葉市立郷土博物館 1階講座室

3 出席者：（委員） 委員長他 3人出席

委員長 川尻 秋生

副委員長 広田 直行

委員 鈴木 一彦

委員 島立 理子

（教育委員会）

文化財課 君塚課長、森本課長補佐

（事務局）

加曽利貝塚博物館 神野館長、松田主査

郷土博物館 芦田館長、長原副館長、錦織主査

### 4 議題

（1）令和6年度の事業報告について

（2）その他

### 5 議事概要及び議事結果

（1）令和6年度の事業報告について

加曽利貝塚博物館と郷土博物館からそれぞれの令和6年度の事業報告について説明し、各委員から意見が出された。

（2）その他

広田委員から加曽利貝塚新博物館についてのD B Oの進捗について質問があり、事務局が説明を行った。また、次回の開催予定について、事務局から説明を行った。

### 6 会議経過

錦織主査の司会進行により会議が開会。会議資料の確認及び運営規則第3条第3項の規定により、この会議が成立していること、千葉市情報公開条例第25条に基づき会議を公開していることを告げた。続いて、事務局職員を紹介した後、川尻委員長を議長として、会議が進行した。

#### 議事（1）令和6年度の事業報告について

< 説明 >

加曽利貝塚博物館と郷土博物館から令和6年度の事業報告について説明した。

< 質疑応答等 >

川尻委員長 ただいま事務局から説明があったので、委員から質問や意見をいただきたい。

- 島立委員 加曽利貝塚について何点か聞きたい。  
資料の整理保管のことで、埋蔵文化財調査センターと共同で管理している  
とのことだが、データベースか何かでシェアされているということか。
- 神野館長 当館の収蔵施設は、かつてプレハブの仮設施設があったが、特別史跡に  
指定されるにあたり、仮設収蔵庫で保管するのを不適切と判断し、適切な  
施設に保管場所を変更した。その中で、常に資料の保管状況などを埋蔵文  
化財調査センターと照らし合わせて台帳などを管理しているのが現状であ  
る。
- 島立委員 旧幸町第1小学校は（収蔵施設として）何らかの手を加えた上で保管し  
ているのか。
- 神野館長 手は加えていない。
- 島立委員 収蔵しているものは土器が多いようだが、鉄器や木製などの繊細な  
資料は、どうしているか。
- 神野館長 埋蔵文化財調査センターで保管している。
- 島立委員 調査研究事業の中の、委託研究とはなにか。
- 神野館長 年代測定や土壤の分析ができる機械（装置）は保有していないので、  
外部に委託している。加えて、加曽利貝塚では地中レーダー探査を行  
い、貝層の分布調査を行ってきたが、早稲田大学に委託を受けてもら  
っている。
- 島立委員 委託料は発生するのか。
- 神野館長 発生している。
- 島立委員 毎年多くの教育普及事業を少人数でとても懸命に実施されているこ  
とは、すごいことだと思う。ターゲットを絞り、専門家向けや一般向け  
で参加しやすい内容の講座を設けていることを含め、事業数が多いこ  
とはとても大変なことだと思う。  
それらの事業の中には、委託されているものもあるのか。
- 神野館長 体験学習の中で、土日に行ってているものは、外部に委託している。

- 島立委員 教育普及事業の中で、メリハリのある事業展開をしていることはすばらしいことだと思う。
- 鈴木委員 大学で博物館学芸員資格課程の担当をしているが、実習生が自ら企画した展示を行うことはよいことだと思う。  
人数が4人で、2回の展示期間があるが、2回目も実習生が展示をするのか？
- 神野館長 実習期間内で行った展示を、年度末に再度展示をしており、2回目は当館の学芸員が展示を行っている。
- 鈴木委員 学生が展示を企画するのは大変勉強になるのではないかと思う。  
ただ、4人というのは、想定している定員と比べてどうなのか？。
- 神野館長 以前はもっと多くの学生を受け入れていたが、作業場所が狭く、少ないこともあり、4～5人が職員で対応できる適切な人数と認識している。
- 鈴木委員 この展示に予算的な措置はしているのか。
- 神野館長 通常の展示関係の予算の中で、対応している。
- 鈴木委員 こういった展示は実習生にとって勉強になるし、楽しいだろうと思う。ただ、学芸員にはいろいろな仕事があるので、厳しさを伴う面もある程度は見てもらう必要があるのではないかと思っている。例えば、展示の模擬的な起案を書かせるのもよいのではないか。簡単な形でよいとは思うが、事業実施までの事務的なプロセスとか、説明の文章を考えないといけないことなど、仕事の現実も知つてもらわないといけない。公費を使っている責任があり、手続きを慎重に行わなければならないことが理解できる。
- これは、郷土博物館も同様だと思う。学芸員の実際の仕事について、学生の理解の幅が広がる気がしている。
- 広田副委員長 島立委員は県の中央博物館で活動されているが、加曽利貝塚博物館と郷土博物館は、県の博物館との連携事業をどの程度行っているか。また、構想的なものはあるのか教えてほしい。
- 神野館長 今年度に県中央博物館が行った「房総海の幸大百科」で、加曽利貝塚博物館の資料を提供し、ポスター、チラシなどで「協力加曽利貝塚博物館」と明記していただくなど、よい関係を築かせてもらっている。当館

としては、市原歴史博物館との連携協定を結んでいるので、それに準ずる形で、県中央博物館との連携を深めていきたいと考えている。そのきっかけとしての今回の協力なので、今後も継続したい。

芦田館長 県中央博物館は至近なので、資料の貸し借りは以前から行っている。今後、県中央図書館が青葉の森公園にできるので、それを契機とした地域の連携を深めたいという動きがあるので、情報共有を軸に連携をはかれたらと考えている。

広田副委員長 図書館建設の計画を話し合う委員会の中で、市と県の図書館の役割分担や連携について議論した。博物館も社会教育施設として事業連携を望まれると思うので、ぜひ協力してほしい。  
燻蒸についてだが、郷土博物館は燻蒸用の施設などは自前か。

芦田館長 自前ではない。業者に資料を持ち込んでいる。テント式だったり、窯式だったりは年度によって異なる。

広田副委員長 燻蒸施設も供用できると思う。

島立委員 県中央博物館には、施設があるので供用も考えられると思う。酸化エチレンの販売が中止となったので、二酸化炭素を利用した方式に対応できるようになった。協力できることがあればと思う。

川尻委員長 団体見学が減ったことについてだが、学校長や担当教諭に具体的に話せる機会を持つことができれば、若干は変わるのでないか。何か、積極的な勧誘につながることをしているか。

神野館長 校長会や社会科研究部会で情報を提供したり、市教育センターの会議などにも先方からの誘いがあり話をする機会がある。  
ただ、校外学習の予定は学校長の考えのみで決まることではないようで、学校で話はしてもらっているが、担当の教諭に引きつがれるかは定かではない。屋外活動のリスクを心配している先生が少なくないということは聞いている。当館がそのリスクを払拭できる説明ができるかが課題と考える。

## 議事（2）その他

＜次回の日程＞

芦田館長から、第2回の協議会は「3月中旬」を目途に、年明けから調整する予定であることを伝えた。

< 質疑応答等 >

広田副委員長 11月に加曽利貝塚の新博物館のD B Oの審査がはじまりると聞いているが、進捗状況を教えてほしい。

森本課長補佐 6月に公告が済み、ここまで間に2回の意見交換を事業者と行った。  
11月にD B Oの提案資料の提出があり、その後の審査結果をふまえ12月に事業者が決まる見込みである。詳細は、第2回の協議会で報告する。

広田副委員長 前回の審査中断前、博物館建設予定地の視察があつたが、今回は予定しているか。

森本課長補佐 新博物館整備室に確認する。

広田副委員長 是非、審査前に現地を確認したいので検討してほしい。

川尻委員長 ではこれで、本日の議事はここで終了する。

問い合わせ先 千葉市立加曽利貝塚博物館  
TEL 043-231-0129  
千葉市立郷土博物館  
TEL 043-222-8231